

次期中間処理施設整備事業「地域振興策」に関する意見等

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会 委員長 福川 裕一 宛て

意見

平成 27年 10月 15日提出

委員名 大谷芳末

地域振興策 追加提案の検討願い

吉田区検討委員会にてパッケージに含まれる個別地域振興策の具体化を審議した結果、派生的に新アイデアが出ましたので、パッケージに追加頂きたく上申いたします。貴検討委員会の審議方向性にマッチング適いしましたら、吉田区として本案追加希望致します。宜しくご検討お願いします。

<添付『追加地域振興策』ご参照下さい>

1. 吉田ゲストハウス
既に追加された「宿泊機能」に対し、24時間営業の困難さの懸念が指摘されました。これに対し、旅館業法に縛られず、三市町市民の公益性 Up を計った修正案です。
2. 吉田マリーナ
台地展開の「カヌー類置き場」案だと、利用者は台地から水辺に運ぶ不便性を解消できないかの派生案です。また、組合検討委でも印旛沼、新川の水辺環境を生かせないかのお話しがたびたびありました。同時に市民の夢の創出に繋がります。
3. オンデマンド交通システム
吉田区独自運行の買い物バス利用住民の声を反映させました。現状は高齢でも健常者が主に利用しています。近い将来、ふれあいバス延伸が実現すると、独自運行「買い物バス」の中継ぎは役目を終えますが、今後ますます高齢化が進むと近隣バス停までも歩行困難者が増加すると思われます。外出先ニーズは買い物から医療機関などへ変化すると思われ、ドアトゥドアで希望予約時間の外出ニーズが増すと思われます。

地域振興策 追加アイデア

ご提案



吉田区クリーンセンター検討委員会

平成27年10月10日

吉田ゲストハウス（ご提案）

宿泊施設のアイデアからの派生アイデア



<目的>

- スポーツ・文化交流、留学ホームステイ施設とする。
- 災害緊急避難場所が必要な時は、被災者を優先で泊める。
- 地域住民がゲストお迎えした場合の宿泊利用が可。

<施設概要（構想）>

- ・ 部屋：20室（6帖）
- ・ タイプ：ツインベッドルーム
- ・ バス・トイレ：なし
- ・ 地域住民サロン隣接
- ・ 集合キッチン・ニング
（住民が食事おもてなしをする場合、ゲストが自炊する場合使用）
- ・ 宿泊料：無料
- ・ 利用代金例：¥300-リネンサービス



<ホストの心得>

- 施設のこと、集落のこと近隣市街地を一番よく知っているのは区民あなたです。お気に入りの場所をシェアして、親しい友人にゲストを紹介しましょう。
- ゲストは型にはまらない事を好むことが多いもの。何か地元の、忘れられないスペシャルなことを教えましょう。
- ゲストを招き入れた時は…今度は外に誘い出す番！ 大好きなカフェ、美術館、近場のラウンジ、縁側カフェに行くときに「一緒にどう？」と声をかけてみましょう。

吉田ゲストハウスの効果



- 1) 吉田区にも、国際親善、ホストファミリーに関心を抱く人々が多少なりともいらっしゃいます。(オーストラリアバトミントンチーム招聘など)
- 2) ゲストを迎える期間にもよりますが、四六時中自宅に滞在させるには、それなりの負担となり、逡巡するケースもあると思われます。
- 3) 三市町を対象にすると、同様なお考えの市民のニーズがあると思われます。
- 4) この施設の利点は、例えば吉田ゲストハウスに3週間滞在させ、その内、自宅に数日宿泊滞在でお迎えするという使い方が出来ます。
- 5) 地域住民の冠婚葬祭時、遠方親戚等の宿泊先としてご利用頂けます。
- 7) 留学生など、ホストとして受け入れる皆様にとっても異文化交流体験ができる貴重な経験になります。
- 8) 災害時、避難所宿泊機能を果たします。(例えば重篤者介護室)
- 9) 有料合宿所(学校、スポーツ関係)としての可能性を残します。

吉田マリーナ 構想



- 印旛沼／新川水辺の魅力

吉田マリーナ構想

カヌー置き場から派生した追加アイデアです



- この場所が唯一印旛沼堤防開口部です。
- 他の場所は八千代エリアだったり、バイパス盛り土領域。
- ハザードマップで利根川決壊想定時、浸水域なので、バイパス路面まで盛り土要。
- 印旛沼海拔は1.2mしかありません。
- カヌーまたはボートが印旛沼水面流域に繫留出来れば顧客利便性格段Up。即出港可。

浚渫要

吉田マリーナ 夢の構想



吉田丸



<欲しい機能>

- ・係留施設
- ・ビジター棧橋
- ・給油所
- ・フィッシャーマンズ
ワーフ
- ・カヌー等置き場

もし利根川に入
れると太平洋に
もできます

吉田マリーナの効果



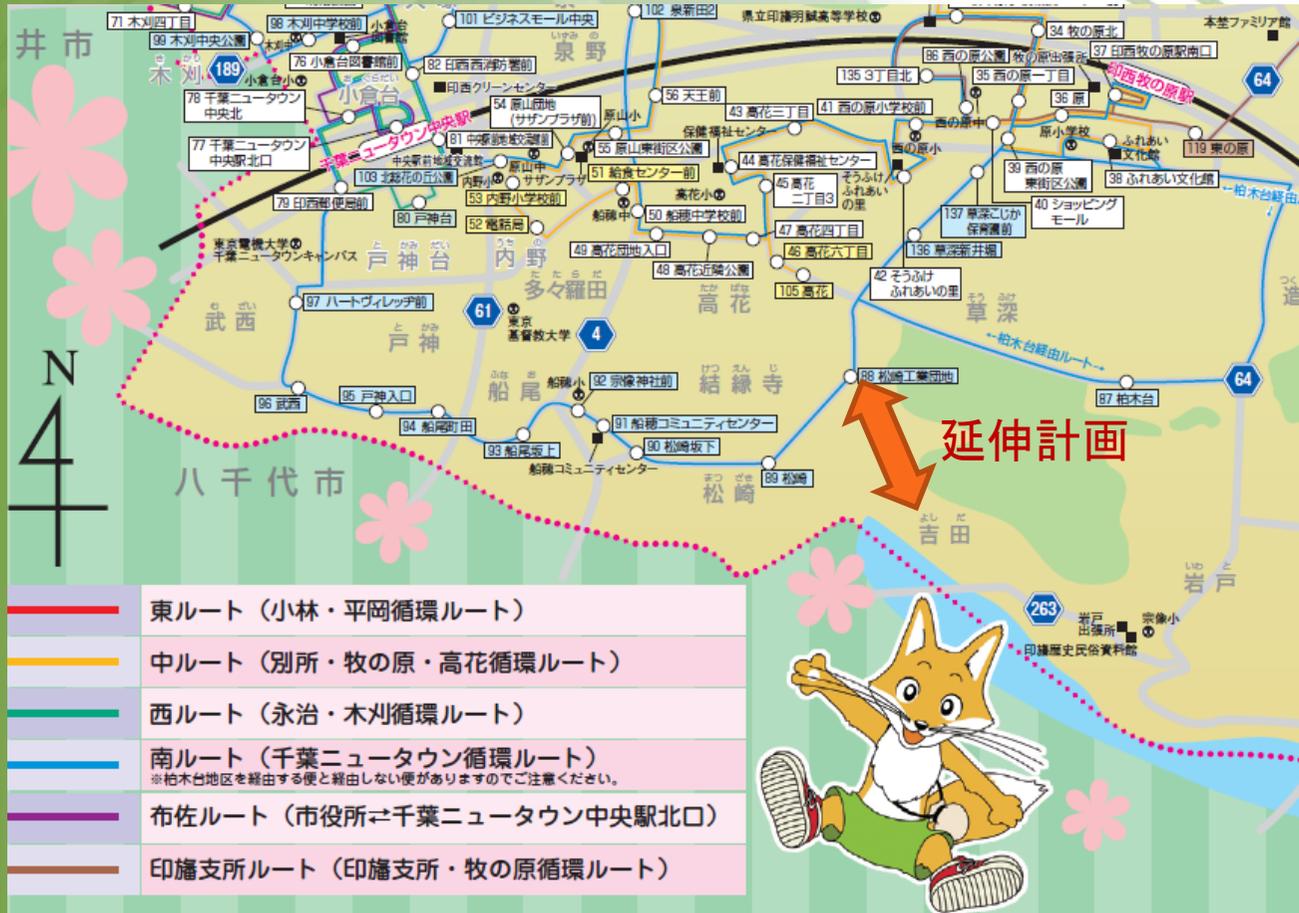
- 三市町マリンスポーツ愛好家の基地提供。
- 印旛沼水域のマリンスポーツ愛好家のビジター基地提供。
- 係留料金収入が期待出来る。
参考：16ft ¥28万/年、25ft ¥53万/年（浦安）
- ビジター利用料金収入がある。（参考～25ftで¥2,000-）
- フィッシャーマンワーフの売上げ期待。
- 吉田ミュージアムへ誘導でお客様の施設内消費を即す。マリーナ顧客はシャワー、入浴サービスのニーズが高い。
- 夢の実現『吉田丸』将来性が期待出来る。

吉田区 買い物バス 現状



- 吉田区では買い物バスを独自運行しています。
- 実績：2012年より現在まで
- 運行日：週1便（木曜）
- 年間運行回数：16回／2014年
スクールバス空き月日のみ運行利用
- 年間利用者数：297人／2014年実績
- 運行経路：吉田区～ジャパ°ンミート 往復
- 年間収支：▲¥37,800-／2014年実績

ふれあいバス南ルート延伸計画



＜現状＞
松崎工業団地時刻表

印西牧の原行	中央駅行
8:36	9:13
11:30	12:07
14:24	15:01
17:18	17:58

14分 17分

出典：印西市HP

オンデマンド交通システム



- 買い物バスはふれあいバス延伸により役割は終わる。

＜買い物バス利用区民の声＞

- ますます高齢化でニーズが増してくるのは、医療機関へのアクセス、交通手段。
- 近隣のバス停までも歩行困難者が増加すると思われる。
- オンデマンド交通システムの実現が望まれる。

オンデマンド交通

- オンデマンド交通とは“ドア・トゥー・ドア”サービスを実現する新しい乗り合いタクシーのサービスです。
- 利用者は予約をしてから行きます。似たような予約があれば一緒に運びます。これを、乗り合いといいます。利用者は自宅や職場から好きな場所まで好きな時間に移動できます。システムに集まる予約を処理し、効率的な運行計画を即座に作り出します。



出典：東京大学オンデマンド交通プロジェクト